

# 秋の気配と湿原植物の移り変わり

～夏から秋にかけての草花と出会う～

季節の移ろいを感じながら湿原の自然を観察してみませんか？

日時：2008年8月31日(日) 9:50～(1時間程度)



## 夏から秋にかけて咲く花々

螺旋状に花をつけるネジバナ、清楚な白い花のウメバチソウ、風に濃紺の花を揺らすサワギキョウ、鮮やかな黄色のアキ/キリンソウなど一年を通じた湿原の花ステージの最後に登場する花々たちに秋の訪れを感じてみましょう。



## 新しい年の準備をする植物たち

モウセンゴケ、トキソウなどは実を結び始めています。ヤチヤナギも来年の葉や花となる冬芽を準備しています。植物たちの冬支度の様子に目を向けてみましょう。



花

実

## 変わりゆく植生

客土を行うことや、施設の側溝を作って湿原に手を加えることで湿原の環境が変化し、植物たちにも影響を与えています。湿原本来の在来種や、湿原に手を入れたために新しく入ってきた在来種、外来の植物の住み分けについて考えてみましょう。



場所： 豊富町・サロベツ原生花園自然教室（豊富ビジターセンター）

集合： 9時50分 ビジターセンター2階

参加料： 100円（保険料）

主催： 環境省 稚内自然保護官事務所、 利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会  
用意しておくといよいもの： 使い慣れたルーペ、双眼鏡、図鑑など

（観察道具の貸し出しはありますが、使い慣れた物があればお持ちいただくのがベストです。）

募集人数： 15名程度

※ 定員に達しない場合は当日の申し込みも可能です。

申し込み方法： 8月29日（金）までに住所、氏名、年齢、連絡先をMailまたはFaxにてお知らせください。

[申し込み・お問い合わせ] 環境省 稚内自然保護官事務所

〒097-8527 稚内市末広5-6-1 稚内地方合同庁舎3F

Tel: 0162-33-1100 Fax: 0162-33-1101 Mail: [RO-WAKKANAI@env.go.jp](mailto:RO-WAKKANAI@env.go.jp)

担当：賀勢（かせい）